2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　グローリー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6457　　URL　https://www.glory.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　原田 明浩
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員 経理・財務本部長　（氏名）　藤川 幸博　TEL　079-297-8077

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト、機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	174,291	13.4	16,055	60.3	14,981	75.2	10,842	91.6	10,637	83.5	9,916	1.5
2026年３月期中間期	153,629	―	10,013	―	8,551	―	5,658	―	5,795	―	9,768	―

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	206.51	200.54
2026年３月期中間期	105.45	102.08

EBITDA（営業利益＋減価償却費及び償却費）　2027年３月期中間期 26,649百万円　2026年３月期中間期 20,004百万円

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	454,131	218,297	217,735	47.9
2026年３月期	452,489	218,454	217,878	48.2

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	56.00	―	56.00	112.00
2027年３月期	―	77.00			
2027年３月期(予想)			―	77.00	154.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	360,000	6.0	32,000	7.6	20,000	30.0	388.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	54,898,510株	2026年３月期	58,938,210株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,524,817株	2026年３月期	4,817,876株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	51,510,321株	2026年３月期中間期	54,958,646株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2027年３月期中間期 1,437,565株、2026年３月期 1,727,991株）。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（国際会計基準（IFRS会計基準）の適用）

当社グループは2026年３月期に終了する連結会計年度より国際会計基準（以下「IFRS会計基準」という。）を適用しております。また、前中間連結会計期間の財務数値についても、IFRS会計基準に準拠して表示しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 5
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）要約中間連結持分変動計算書 …… 9
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（セグメント情報） ……11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢等を背景に先行き不透明な状況が継続したものの、全体としては緩やかな持ち直しの動きが見られました。日本経済においては、物価が緩やかに上昇するなか、堅調な企業収益等を背景に設備投資が持ち直すとともに、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費にも持ち直しの動きが見られました。また、世界的なＡＩ関連需要の拡大に伴い、メモリや電子部品等の一部部材において需給の逼迫が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内外での人件費高騰や人手不足に伴う省人化及び業務効率化のニーズが継続し、セルフ型製品への需要が堅調に推移いたしました。

国内市場につきましては、金融市場及び流通・交通市場では、大口受注や新紙幣対応の反動によって販売が落ち込んだ前期から需要が回復基調であるとともに、省人化や業務効率化ニーズを背景に、主要製品の販売が増加いたしました。一方、遊技市場においては、スマート遊技機の導入ペースが鈍化し、販売は減少いたしました。

海外市場につきましては、欧州では、金融市場において、金融包摂を目的として郵便事業者向けに紙幣硬貨入出金機の導入が進むなど、主要製品の販売が増加いたしました。リテール市場においても、製品・サービスへの需要が堅調で、大手リテーラーへの販売が増加いたしました。一方、米州では、金融市場、リテール市場ともに、前年同期の大口受注の反動等により、販売が減少いたしました。また、Flooidグループの販売は前年同期並みでありましたが、先行投資を継続したことから、営業損失となりました。飲食市場では、Acrelecグループにおいて大手顧客への販売が進み、売上収益、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上収益は、174,291百万円（前年同期比 13.4％増）となりました。このうち、製品及び商品売上収益は、107,575百万円（前年同期比 16.2％増）、保守売上収益は、66,715百万円（前年同期比 9.2％増）でありました。利益につきましては、営業利益は、16,055百万円（前年同期比 60.3％増）、税引前中間利益は、14,981百万円（前年同期比 75.2％増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は、10,637百万円（前年同期比 83.5％増）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

（金融市場）

当セグメントの売上収益は、18,691百万円（前年同期比 20.9％増）、営業利益は、1,681百万円（前年同期比 141.4％増）となりました。主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は、好調でありました。

（流通・交通市場）

当セグメントの売上収益は、32,293百万円（前年同期比 22.5％増）、営業損益は、414百万円の損失（前年同期は 152百万円の損失）となりました。主要製品である「レジつり銭機」及び警備輸送会社向け「売上金入金機」の販売は、好調でありました。一方、利益につきましては、新領域事業への先行投資の継続に加え、販売製品構成の変化により、営業損失が拡大いたしました。

（遊技市場）

当セグメントの売上収益は、9,513百万円（前年同期比 14.1％減）、営業利益は、1,722百万円（前年同期比 42.7％減）となりました。周辺機器である「賞品保管機」の販売は、好調でありましたが、主要製品である「カードシステム」の販売は、低調でありました。

（海外市場）

当セグメントの売上収益は、111,085百万円（前年同期比 14.4％増）、営業利益は、13,463百万円（前年同期比 100.8％増）となりました。

米州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入出金機＜GLRシリーズ＞」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入出金機＜CI-Xシリーズ＞」の販売は低調でありましたが、為替の影響により、売上収益は、45,846百万円（前年同期比 1.1％増）となりました。

欧州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入出金機＜GLRシリーズ＞」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入出金機＜CI-Xシリーズ＞」の販売は好調であり、売上収益は、55,875百万円（前年同期比 25.6%増）となりました。

アジアでは、リテール市場向け「紙幣硬貨入出金機＜CI-Xシリーズ＞」の販売は好調であり、売上収益は、9,363百万円（前年同期比 28.2%増）となりました。

Acrelecグループの売上収益は、18,724百万円（前年同期比 31.8%増）、営業利益は、881百万円（前年同期は509百万円の損失）となりました。また、Flooidグループの売上収益は、5,505百万円（前年同期比 7.0%増）、営業損益は、167百万円の損失（前年同期は 205百万円の利益）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上収益は、2,707百万円（前年同期比 24.9%減）、営業損益は、398百万円の損失（前年同期は 239百万円の損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び資本の状況）

当中間連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産は、前連結会計年度末に比べ1,641百万円増加し、454,131百万円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物5,235百万円、その他の流動資産4,594百万円の増加、及び、営業債権及びその他の債権5,717百万円、のれん及び無形資産3,966百万円の減少であります。なお、その他の流動資産の増加は、主に海外税額優遇権等に関する資産の増加及び日伊間の移転価格の事前確認制度（APA）に関連する未収法人税の計上によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,798百万円増加し、235,833百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務2,015百万円、リース負債1,344百万円の増加、及び、その他の流動負債1,984百万円の減少であります。なお、その他の流動負債の減少は、主に契約負債の減少であります。

資本は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少し、218,297百万円となりました。主な要因は、中間利益の計上による10,842百万円の増加、及び、自己株式の取得による7,463百万円、剰余金の配当による3,130百万円の減少であります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は47.9%（前連結会計年度末は48.2%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ5,235百万円増加し、55,277百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、21,770百万円の収入となりました（前年同期は15,614百万円の収入）。これは、主に税引前中間利益14,981百万円、減価償却費及び償却費10,594百万円等の資金の増加があった一方、法人所得税の支払6,212百万円等による資金の減少があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,790百万円の支出となりました（前年同期は4,610百万円の支出）。これは、主に無形資産の取得による2,261百万円の支出、有形固定資産の取得による2,228百万円の支出等があった一方、無形資産の売却による830百万円の収入、その他の金融資産の売却による750百万円の収入等があったためであります。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは18,979百万円の収入となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、13,130百万円の支出となりました（前年同期は10,729百万円の支出）。

これは、主に自己株式の取得による7,388百万円の支出、リース負債の返済による4,066百万円の支出等があったためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外市場、国内市場ともに、人件費高騰や人手不足に伴う省人化及び業務効率化ニーズが継続し、セルフ型製品の需要が堅調に推移する見通しです。

なお、ＡＩ関連需要の拡大に伴うメモリや電子部品等の部材調達難及び生産への影響が見込まれますが、業績進捗等を踏まえ、2026年５月15日に公表いたしました通期連結業績予想は据え置いております。一方、セグメント別の業績予想につきましては、足元の業績進捗や今後の見通し等を踏まえ、以下のとおり見直しております。

海外市場では、製品・サービスへの堅調な需要が継続していることから、部材調達難による生産への影響を見込むものの、売上収益及び営業利益を上方修正いたしました。一方、金融市場及び流通・交通市場では、部材調達難による生産への影響に伴い、一部製品の販売延伸を見込んでいることから、売上収益及び営業利益を下方修正いたしました。また、遊技市場につきましては、足元の業績進捗を踏まえ、業績予想を修正しております。

なお、業績見通しの前提となる第３四半期以降の為替レートにつきましては、１米ドル155円（変更前150円）、１ユーロ180円（変更前170円）としております。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,042	55,277
営業債権及びその他の債権	67,110	61,392
棚卸資産	85,459	87,057
その他の金融資産	3,379	3,417
その他の流動資産	12,535	17,130
小計	218,527	224,275
売却目的で保有する資産	863	－
流動資産合計	219,390	224,275
非流動資産		
有形固定資産	36,110	35,307
使用権資産	18,764	20,011
のれん及び無形資産	127,457	123,490
持分法で会計処理されている投資	938	820
その他の金融資産	17,927	18,849
繰延税金資産	25,110	26,542
その他の非流動資産	6,789	4,833
非流動資産合計	233,099	229,855
資産合計	452,489	454,131

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,782	18,797
社債及び借入金	23,204	26,925
リース負債	7,169	7,010
従業員給付	17,162	15,662
その他の金融負債	15,228	10,870
未払法人所得税	1,810	3,727
その他の流動負債	49,613	47,628
流動負債合計	130,970	130,622
非流動負債		
社債及び借入金	52,070	49,551
リース負債	11,553	13,057
従業員給付	15,154	15,457
その他の金融負債	1,448	5,142
繰延税金負債	15,263	15,998
その他の非流動負債	7,574	6,004
非流動負債合計	103,064	105,210
負債合計	234,035	235,833
資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	10,669	10,318
利益剰余金	199,449	194,129
自己株式	△20,578	△13,120
その他の資本の構成要素	15,444	13,515
親会社の所有者に帰属する持分合計	217,878	217,735
非支配持分	576	562
資本合計	218,454	218,297
負債及び資本合計	452,489	454,131

（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	153,629	174,291
売上原価	△83,317	△95,204
売上総利益	70,311	79,086
販売費及び一般管理費	△60,739	△63,601
その他の収益	707	801
その他の費用	△266	△231
営業利益	10,013	16,055
金融収益	329	890
金融費用	△2,249	△1,846
持分法による投資損益（△は損失）	458	△117
税引前中間利益	8,551	14,981
法人所得税費用	△2,892	△4,139
中間利益	5,658	10,842
中間利益の帰属		
親会社の所有者	5,795	10,637
非支配持分	△137	205
中間利益	5,658	10,842
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	105.45	206.51
希薄化後１株当たり中間利益（円）	102.08	200.54

（要約中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	5,658	10,842
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	510	469
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	1,142	1,493
合計	1,652	1,962
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,457	△2,889
合計	2,457	△2,889
その他の包括利益合計	4,110	△926
中間包括利益	9,768	9,916
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,835	9,728
非支配持分	△66	187
中間包括利益	9,768	9,916

（３）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2025年４月１日残高	12,892	10,525	188,758	△7,705	901	205,373	769	206,143
中間利益又は中間損失（△）	－	－	5,795	－	－	5,795	△137	5,658
その他の包括利益	－	－	－	－	4,040	4,040	70	4,110
中間包括利益合計	－	－	5,795	－	4,040	9,835	△66	9,768
剰余金の配当	－	－	△3,014	－	－	△3,014	△175	△3,189
株式報酬取引	－	△329	－	－	－	△329	－	△329
子会社に対する所有持分の変動	－	△11	－	－	－	△11	11	△0
自己株式の取得	－	－	－	△6,824	－	△6,824	－	△6,824
自己株式の処分	－	－	－	601	－	601	－	601
自己株式の消却	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	710	－	△710	－	－	－
所有者との取引額合計	－	△340	△2,303	△6,223	△710	△9,578	△164	△9,742
2025年９月30日残高	12,892	10,184	192,250	△13,928	4,231	205,630	539	206,169

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2026年４月１日残高	12,892	10,669	199,449	△20,578	15,444	217,878	576	218,454
中間利益	－	－	10,637	－	－	10,637	205	10,842
その他の包括利益	－	－	－	－	△909	△909	△17	△926
中間包括利益合計	－	－	10,637	－	△909	9,728	187	9,916
剰余金の配当	－	－	△2,933	－	－	△2,933	△196	△3,130
株式報酬取引	－	△202	－	－	－	△202	－	△202
子会社に対する所有持分の変動	－	0	－	－	－	0	△5	△4
自己株式の取得	－	－	－	△7,463	－	△7,463	－	△7,463
自己株式の処分	－	－	－	728	－	728	－	728
自己株式の消却	－	△150	△14,042	14,192	－	－	－	－
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	1,019	－	△1,019	－	－	－
所有者との取引額合計	－	△351	△15,957	7,457	△1,019	△9,871	△201	△10,072
2026年９月30日残高	12,892	10,318	194,129	△13,120	13,515	217,735	562	218,297

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	8,551	14,981
減価償却費及び償却費	9,990	10,594
受取利息及び受取配当金	△274	△412
支払利息	1,178	1,296
持分法による投資損益（△は益）	△458	117
固定資産除売却損益（△は益）	47	88
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	11,505	5,065
棚卸資産の増減（△は増加）	△5,216	△2,507
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△10	2,680
従業員給付の増減（△は減少）	△2,218	△1,039
その他	△4,985	△1,863
小計	18,110	29,001
利息及び配当金の受取額	283	402
利息の支払額	△1,278	△1,420
法人所得税の支払額	△1,500	△6,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,614	21,770
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,220	△2,228
無形資産の取得による支出	△1,836	△2,261
無形資産の売却による収入	12	830
その他の金融資産の取得による支出	△20	△22
その他の金融資産の売却による収入	338	750
投資事業組合からの分配による収入	83	114
その他	31	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,610	△2,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,318	3,958
長期借入金の返済による支出	△2,294	△2,380
リース負債の返済による支出	△3,061	△4,066
配当金の支払による支出	△3,017	△2,933
非支配持分への配当金の支払による支出	△175	△196
自己株式の取得による支出	△6,824	△7,388
その他	△674	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,729	△13,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	△614
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	312	5,235
現金及び現金同等物の期首残高	51,468	50,042
現金及び現金同等物の中間期末残高	51,780	55,277

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスについて、各市場毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループのセグメントは、市場別に構成されており、「金融市場」、「流通・交通市場」、「遊技市場」、「海外市場」の４つを報告セグメントとしております。

各セグメントの概要は、以下のとおりであります。

「金融市場」……国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

「流通・交通市場」……国内のスーパーマーケット、百貨店、飲食店、警備輸送会社、鉄道会社、病院、自治体等への販売・保守

「遊技市場」……国内の遊技場（パチンコホール等）への販売・保守

「海外市場」……海外の金融機関、大手リテーラー、飲食店、警備輸送会社等への販売・保守

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	金融市場	流通・交通市場	遊技市場	海外市場	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	15,463	26,354	11,077	97,131	150,026	3,603	153,629	－	153,629
セグメント間の内部売上収益及び振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	15,463	26,354	11,077	97,131	150,026	3,603	153,629	－	153,629
セグメント損益	696	△152	3,005	6,703	10,253	△239	10,013	－	10,013
金融収益	―	―	―	―	―	―	―	―	329
金融費用	―	―	―	―	―	―	―	―	2,249
持分法による投資損益(△は損失)	―	―	―	―	―	―	―	―	458
税引前中間利益	―	―	―	―	―	―	―	―	8,551

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のコインパーキング事業者への販売、新規事業等が含まれております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他(注)	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	金融市場	流通・交通市場	遊技市場	海外市場	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	18,691	32,293	9,513	111,085	171,583	2,707	174,291	－	174,291
セグメント間の内部売上収益及び振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	18,691	32,293	9,513	111,085	171,583	2,707	174,291	－	174,291
セグメント損益	1,681	△414	1,722	13,463	16,453	△398	16,055	－	16,055
金融収益	―	―	―	―	―	―	―	―	890
金融費用	―	―	―	―	―	―	―	―	1,846
持分法による投資損益（△は損失）	―	―	―	―	―	―	―	―	△117
税引前中間利益	―	―	―	―	―	―	―	―	14,981

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のコインパーキング事業者への販売、新規事業等が含まれております。